



箱根ガラスの森美術館



第53期 中間期 株主通信

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日



代表取締役社長
柏森 雅勝

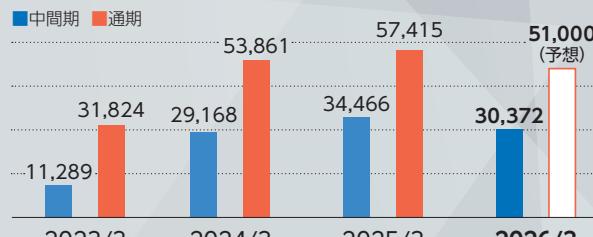
Q1. 2026年3月期中間期の業績について

前年は新紙幣対応の改刷特需があったため、その反動で減収減益となりましたが、基礎的な収益水準は高水準を維持しています。当社顧客であるパチンコホール企業において、スマート遊技機、特にスマートパチンコの導入が進んだことから、カードユニットの販売が好調に推移しました。展示会で発表した新製品も高い評価を得て、順調に拡販が進んでいます。さらに、グループ会社・DAXEL(株)が開発したスマートパチスロ「ようこそ実力至上主義の教室へ」と、元気(株)の自社ゲームタイトル「首都高バトル」の販売が業績に寄与しています。

業績ハイライト

(単位：百万円、単位未満は切捨て)

売上高



(注) 当連結会計期間より、不動産賃貸に係る損益について、営業外損益から売上高及び売上原価に表示方法を変更しております。

Q2. 2026年3月期の見通し

当社は、スマートパチンコの導入が想定を上回り、カードユニット「VEGASIA」や新製品の販売が好調に推移したことなどを受け、前回予想を上回る見通しとなったことから、通期業績予想を上方修正しました。売上高・利益ともに堅調であり、安定した需要と新製品効果により、着実な成長が期待されます。中期経営計画のもと、安定成長と株主還元の両立を引き続き進めてまいります。

Q3. 今後のスマート遊技機について

スマート遊技機の普及は引き続き拡大しており、当中間期末の設置割合は、パチスロ機全体の56.3%(前年同期比+約10ポイント)、パチンコ機全体の23.3%(同+約15ポイント)となりました。特にスマートパチンコは、この1年で設置割合が約3倍に増加するなど、導入が急速に進んでいます。

また、スマートパチスロでは2025年6月より「ボーナストリガー」機が、スマートパチンコでは7月より「ラッキートリガー3.0プラス」など、新たな遊技性を備えた機種の導入が始まりました。スマート遊技機は今後もファンの支持を得ながら設置割合を拡大していく見込みであり、これに伴う設備投資需要も堅調に推移すると想定しています。

営業利益



Q4. ダイコク電機の成長戦略

当社はこれまで、パチンコホール向けシステムや設備を通じて業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)を牽引してまいりました。今後はこのDXの先にある「CX(カスタマーエクスペリエンス)」——すなわち未知の顧客体験の創出に挑戦してまいります。2025年10月には、ヴェネチアングラスを専門とする「箱根ガラスの森美術館」の文化事業を子会社を通じて承継し、BtoC領域における新たな取り組みをスタートしました。これまでに培ってきたデータ活用やAI技術を生かし、観光・文化・エンターテインメント分野においても、個々のお客さまに寄り添った体験価値の提供を目指します。2030年ビジョン「Make CX Amazing~未知の顧客体験を世界に~」のもと、当社は業界の枠を超えた事業領域の拡大と新しい価値の創造に挑戦してまいります。

Q5. 株主の皆さまへのメッセージ

■ 業績の上方修正と増配の予定

当社は、スマート遊技機市場の拡大や新製品の販売好調を受け、通期業績予想を上方修正いたしました。これに伴い、期末配当予想を70円とし、年間配当金を100円(中間配当30円+期末配当70円)に増配することを予定しております。

■ 配当方針の強化

今後3年間の中期経営計画における安定配当方針を踏まえ、年間配当の下限を従来の80円から100円へと引き上げ、安定的かつ継続的な株主還元を一層強化してまいります。

■ 株主優待の拡充

保有株式数および継続保有期間に応じて1,000円~5,000円分のQUOカードを贈呈する株主優待制度に加え、今年は新たに「箱根ガラスの森美術館」ペア招待チケットを進呈いたします。観光・文化事業として当社グループが運営する同施設を、ぜひお楽しみください。

株主の皆さまには、当社グループの新たな挑戦と持続的な成長にご期待いただき、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年3月期中間期 資産の状況

流動資産	41,240
固定資産	20,394
純資産	49,058
流動負債	11,546
固定負債	1,030

(単位：百万円、単位未満は切捨て)

経常利益



親会社株主に帰属する純利益



5月

DAXEL 「スマスロようこそ実力 至上主義の教室へ」発売

子会社・DAXELブランドのスマートパチスロ第1号機「スマスロようこそ実力至上主義の教室へ」を、5月にリリースしました。本機は、ライトノベルからTVアニメ化もされた若年層に人気の高いコンテンツを採用しており、当初計画を上回る販売台数となりました。当社グループでは、引き続き自社ブランドによるパチスロ開発を推進し、今後の事業成長につなげていきます。



2025 April

5～6月

新製品発表会&DK-SISセミナー 「FINDOOR～つながり、ひろがる。 未来への扉～」開催

2025年5月16日の名古屋会場を皮切りに、福岡・大阪・東京の4会場、延べ6日間にわたり「新製品発表会 & DK-SISセミナー」を開催しました。

今回の展示会は「FINDOOR～つながり、ひろがる。未来への扉～」をテーマに掲げ、2,000名を超えるお客様にご来場いただき、新製品「BiGMO XCEL」「TJ-01」、新サービス「サイトセブンFAN+」を体感いただきました。

新製品「BiGMO XCEL」

2013年に登場した「BiGMO PREMIUM」から12年ぶりのフルモデルチェンジ。業界最大級となる21.5インチ縦型液晶を搭載したホール情報端末です。



新製品「TJ-01」

従来型セルフPOSの課題を解決するため開発された、精算機とPOSが一体となったコンパクト設計のセルフ端末。ホール・スタッフ・ファンの三方に「やさしい」操作性と運用性を提供します。



新サービス「サイトセブンFAN+」

パチンコ・パチスロホールの集客とファン対応を支援するAI活用型マーケティング支援サービス。LINEを基盤としたPUSH型の情報配信と、会員行動データに基づくレコメンド配信が特徴です。



6月

「紺綬褒章」受章

2024年1月に発生した「令和6年能登半島地震」により甚大な被害を受けた石川県に対し、被災された方々への支援および被災地の早期復興にお役立ていただきため、同年2月に「企業版ふるさと納税」を通じて1,000万円を寄附しました。

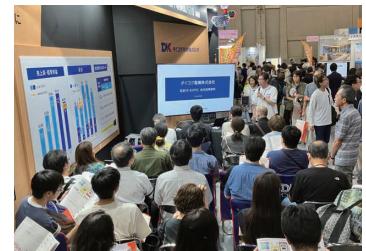
この取り組みが評価され、当社は紺綬褒章を受章いたしました。



9月5日・6日

「名証IRエキスポ2025」出展

名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)で開催された「名証IRエキスポ2025」に、今年も当社ブースを出展しました。本イベントには2日間で初めて1万人を超える来場があり、過去最高の規模となりました。当社ブースでは、対面での個別説明に加え、1日3回・計6回のミニ説明会も実施し、例年より多くの方にお訪問いただきました。パチンコ業界の現状や当社業績、株主優待などの株主還元について説明しました。



9月

元気「首都高バトル」 日本ゲーム大賞の優秀賞受賞

子会社・元気が開発・販売する「首都高バトル」が、一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会主催の「日本ゲーム大賞2025」において優秀賞を受賞しました。元気が同賞を受賞するのは本作が初めてです。



日本ゲーム大賞優秀賞

7月

「DK-SIS白書2025年版— 2024年データ」刊行

毎年刊行している「DK-SIS白書」は、本年で22年目を迎めました。本書は、全国のパチンコホールから日々送信される約140万台分もの営業データ(年間売上8.9兆円規模)を集計・分析したもので、年間の動向を整理し掲載しています。業界関係者の皆さまにとって、将来を見通す上での貴重な指標としてご活用いただいているいます。



DK-SIS白書2025年版

September October

10月1日

箱根ガラスの森リゾート 「箱根ガラスの森美術館」の文化事業を承継

子会社・箱根ガラスの森リゾートは、日本初のヴェネチアングラス専門美術館である「箱根ガラスの森美術館」の文化事業を承継しました。

同施設の価値向上と収益力の強化を図るとともに、地域文化の継承と活性化にも貢献していきます。

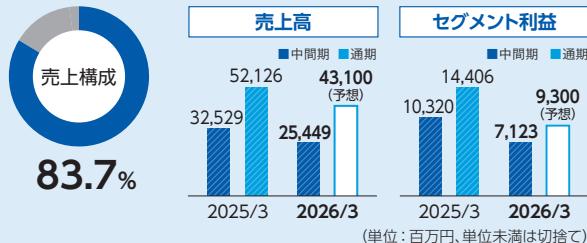


箱根ガラスの森美術館



情報システム事業

パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売



●ホールコンピュータ | パチンコホール経営用のコンピュータ



●情報公開機器 | 遊技ファン用のデータ表示機



●サイトセブン | 遊技ファン用のデータ閲覧サービス



当期の営業概況

『パチンコホール向け製品等』の売上は、カードユニットの改刷対応に伴う特需が一巡したことから前年同期を下回りました。一方で、カードユニット「VEGASIA」の販売台数は前年同期を上回り、さらに新製品「BIGMO XCEL」、「TJ-01」および情報公開製品の販売が好調に推移しました。『サービス』の売上は、主要なサービスが堅調に推移し、スマート遊技機登場による市場変化への対応に関連したMIRAGATEサービスの加盟店舗数が増加したこともあり、前年同期を上回りました。



アミューズメント事業

パチンコ・パチスロ機のソフト・ハード開発・製造・販売



当期の営業概況

市場においてスマートパチンコの導入が進んでおります。このような環境のもと、パチンコ向け制御部品の売上は前年同期を上回りました。また、第1四半期に当社グループ会社のDAXEL(株)が開発したスマートパチスロ「ようこそ実力至上主義の教室へ」および元気株が開発した自社ゲームタイトル「首都高バトル」の販売が堅調で、当事業の業績に寄与しました。

その他



当期の営業概況

前中間連結会計期間より、西本産業(株)、(株)LILIJUM、(株)ログオンシステム、(株)箱根ガラスの森リゾートを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を追加しております。

※セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

会社概要

商号 ダイコク電機株式会社
DAIKOKU DENKI CO., LTD.
創業 1965年9月
設立 1973年7月
資本金 7億2,312万8,177円
本社 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号
従業員数 単体: 425名 連結: 729名
事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売
パチンコ・パチスロ遊技機に関わるソフト・ハードウェアの開発・製造・販売

決算期 3月31日
事業所 3事業所、4支店、13営業所
連結子会社 元気株式会社
DAXEL株式会社
ダイコク電機コミュニケーションPLUS株式会社
アロフト株式会社
株式会社グローバルワイス
株式会社ライリィ
株式会社LILIJUM
西本産業株式会社
株式会社ログオンシステム
株式会社箱根ガラスの森リゾート

役員

取締役会長	上森 森	誠一郎
代表取締役社長	柏木 柏	雅
代表取締役専務	大橋 大	健
代表取締役専務	櫻井 由	文
取締役	小西 正	子
監査役	中森 光	樹
監査役	森 健	生
監査役	今 幸	一
監査役	井 宣	典

(注)1.取締役 櫻井由美子氏、小紫正樹氏は社外取締役であります。
2.監査役 中島健一氏、森田幸典氏、今井宣之氏は社外監査役であります。

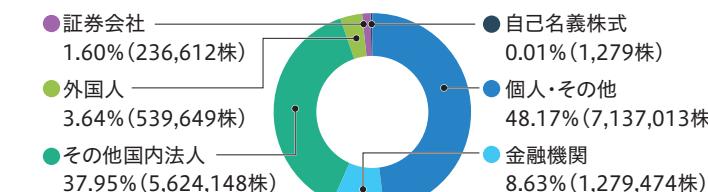
執行役員

上席執行役員	藤 関	忠 貴
上席執行役員	加 尾 牧	芳 夫
執行役員	岡 石	視 慎
執行役員	猪 飯 入	久 敬
執行役員	本 原 飼	篤 光
執行役員	飼 田 江	俊 晴

株式の状況

発行可能株式総数 66,747,000 株
発行済株式総数 14,818,175 株
株主数 23,248 名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
円谷フィールズホールディングス株式会社	1,989,800	13.42
株式会社KCプラス	1,199,200	8.09
柏森 雅勝	908,748	6.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	838,800	5.66
公益財団法人柏森情報科学振興財団	750,000	5.06
株式会社大黒屋	750,000	5.06
柏森 新治	510,000	3.44
柏森 美智子	490,000	3.30
柏森 健	449,001	3.03
ダイコク興産株式会社	380,000	2.56

■ 事業 年 度 4月1日から翌年3月31日

■ 定時 株主 総会 6月下旬

■ 基 準 日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

■ 一単元の株式数 100株

■ 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

■ 同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

■ 郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

■ 公 告 方 法 電子公告によります。ただし、やむを得ない
事由によって電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

■ 公告のホームページアドレス <https://www.daikoku.co.jp>

株主優待制度のご案内

毎年9月末日時点の当社株主名簿に記載または記録された100株以上をご所有する株主さまを対象に、保有株式数と継続保有期間に応じてオリジナルQUOカードを贈呈いたします。

さらに今期は「箱根ガラスの森美術館」の文化事業承継を記念した特別優待として、100株以上をご所有する株主さまに、当該美術館ペア招待チケットをあわせて進呈いたします。

お届けは毎年12月上旬に発送の「中間期株主通信」に同封してお送りしております。

今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



特別優待

こちらの
株主通信に
同封！

保有株式数	継続保有期間		
	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
100株以上 ～500株未満	1,000円分	2,000円分	3,000円分
500株以上 ～1,000株未満	2,000円分	3,000円分	4,000円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分	5,000円分

※継続保有期間とは、同一の株主番号で株主名簿基準日(毎年3月末日及び9月末日)の株主名簿に連続で記載または記録されていることをいいます。